

品番

LGB52110 LE1 (1灯相当 光色: 昼白色)	LGB52111 LE1 (1灯相当 光色: 電球色)	LGB52112 LE1 (1灯相当 光色: 温白色)
LGB52120 LE1 (2灯相当 光色: 昼白色)	LGB52121 LE1 (2灯相当 光色: 電球色)	LGB52122 LE1 (2灯相当 光色: 温白色)

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 ご使用前に「安全上のご注意」(1ページ)を必ずお読みください。
 この取扱説明書は大切に保管してください。
 施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告



●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
 異常状態が収まったことを確認し、販売店
 またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



●器具を改造したり、部品交換をしない
 火災、感電、落下によるけがのおそれ
 があります。

注意



●照明器具には寿命があります。
 設置して10年経つと、外観に異常が
 なくても内部の劣化は進行しています
 点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けると
 まれに火災、感電、落下などに
 至る場合があります。

◎1年に1回は別紙「安全チェックシート」
 に基づき自主点検してください。

●本体の取り外しは販売店、工事店に
 依頼する

本体の取り外しには資格が必要です。

●お手入れの際は、電源を切る

通電状態で行うと感電の原因となることが
 あります。



●点灯中や消灯直後はLEDやその周辺に
 さわらない

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、LEDや
 その周辺が冷めてから行ってください。

●温度の高くなるものを器具の真下に
 置かない

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。



●LEDを直視しない

目の痛みの原因となることがあります。

●シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので
 ふいたり、洗剤、殺虫剤を吹きかけない。

変色、破損、感電の原因となることがあります。

●カバーにアルカリ系洗剤は使用しない

強度低下により破損するおそれがあります。

工事店様へ

- 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。
- 施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■取付面



禁止

- 次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
・縦向き取り付けでの壁面・傾斜した場所
・補強のない薄い場所
（ベニヤ板や石こうボードなど）
・不安定な場所
◎壁面・天井面取付専用器具です。



必ず守る

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの木造の造営材に器具を取り付ける場合は、器具の金属部と絶縁を取る
木ネジ、器具の取付板とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けてください。守らないと、漏電した場合、火災の恐れがあります。

■壁スイッチ



必ず守る

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



◎調光器の取り外しが必要です。

■その他



必ず守る

- 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う
取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。
- 電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。
- 取付板を確実に取り付ける。
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

注意



禁止

- 温度の高くなるものの上に取り付けない
レンジ等温度の高くなるものの上に器具を取り付けしないでください。
火災の原因となることがあります。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で
使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



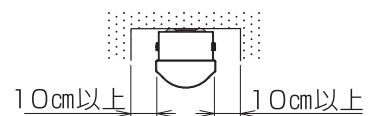
必ず守る

- 付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- 灯具を確実に取り付け
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となることがあります。
- 灯具を無理に開かない
灯具破損、落下によるけがの原因となることがあります。
- 器具の取り付け取り外しは
手袋など保護具を使用する
けがのおそれがあります。

施工前のご確認事項

- 壁スイッチを設けてください。
点灯消灯させたり、お手入れの際に電源を切ることができます。
- ほたるスイッチと接続する場合は1回路につき
スイッチ3個まででご使用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)

取付位置のご注意

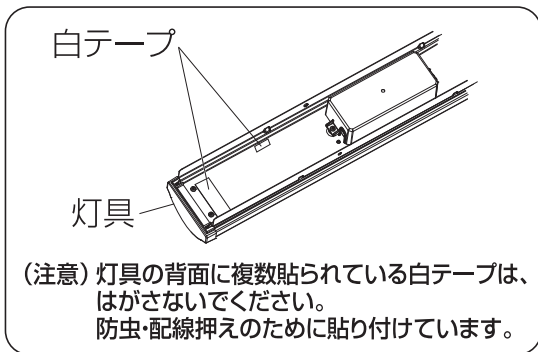
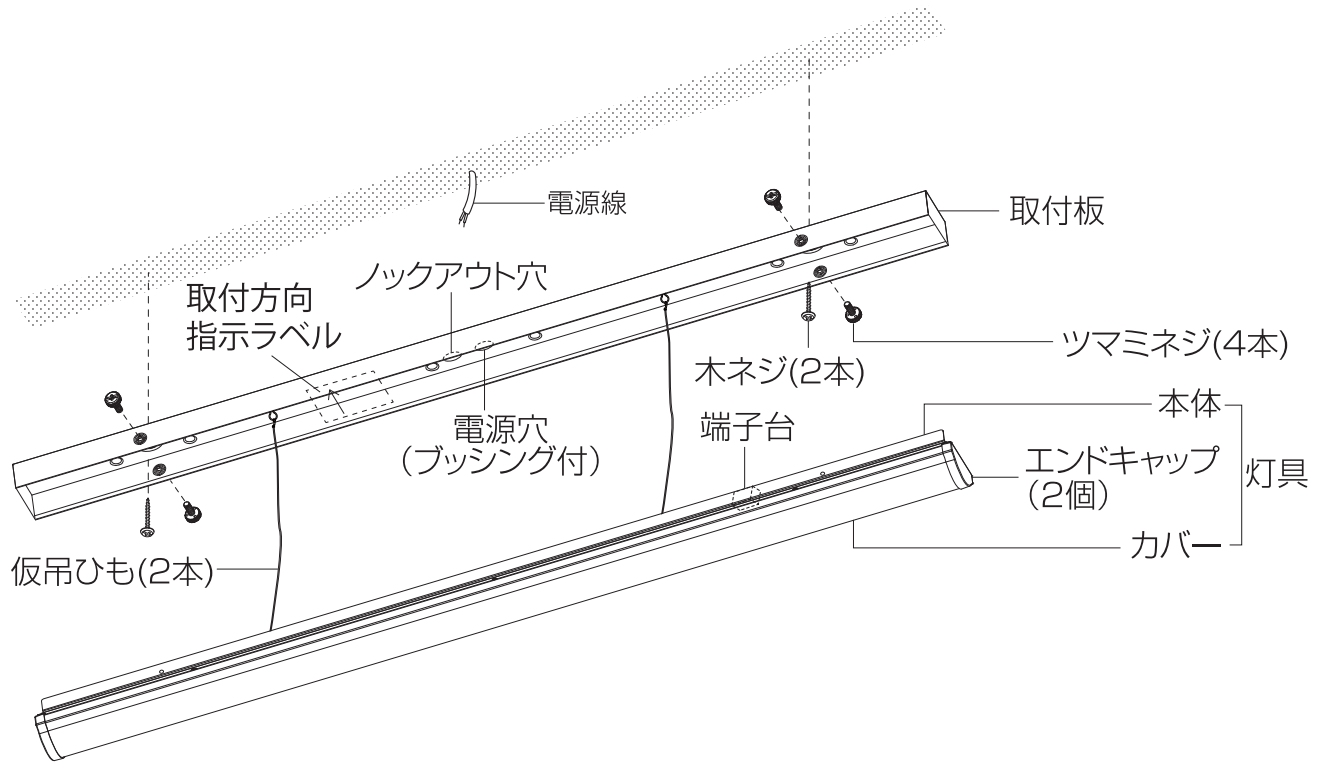


灯具取付のため、器具側面の両側とも10cm以上の距離が必要です。
指定距離より狭い場合は、灯具の取り付け・取り外しができなくなります。(壁面・天井取付とも同じ)

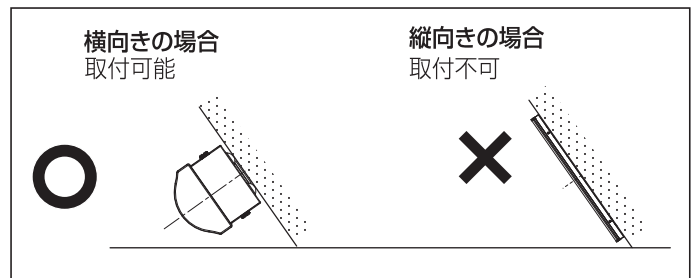
各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

●4ページ (取り付け前の準備) を参照に器具を下図の状態にし、施工を行ってください。



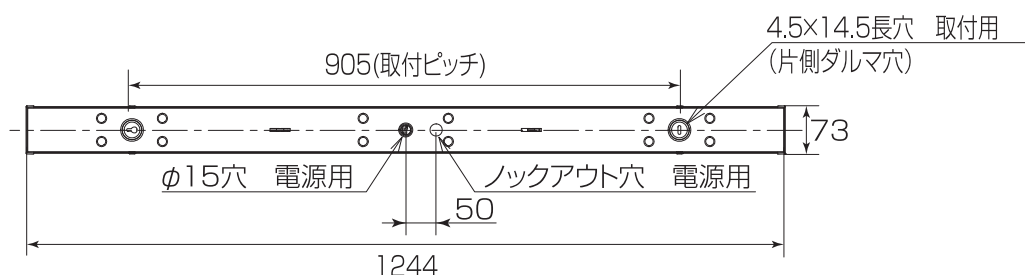
●壁面・傾斜天井に取り付ける場合



警告

禁止 縦向き取り付けでの壁面・傾斜した場所への取り付けないでください。指定外取付は落下の原因となります。

器具取付寸法図



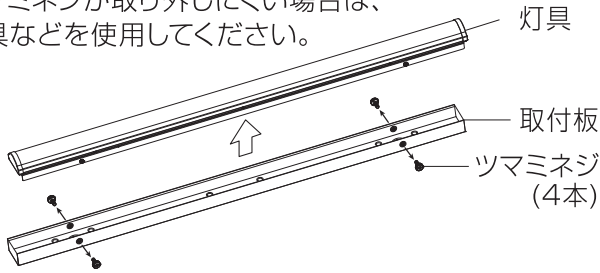
単位:mm

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け前の準備

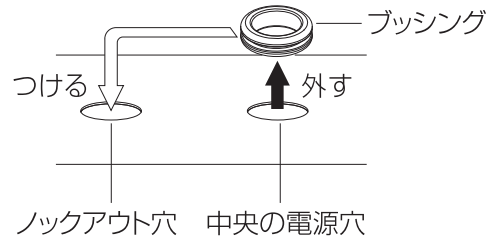
- 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。
- 取付板から**灯具**を取り外す
ツマミネジ(4本)を取り外し、灯具を取り出す。
ツマミネジが取り外しにくい場合は、
工具などを使用してください。



※中央の電源穴から入線できない場合

取付板のノックアウト穴を開けてください。

- 取付板裏面から電源入線用の穴をドライバーで打ち抜く
- 取付板表面から、ニッパーで抜きカスを切る
- 中央の電源穴に装着しているブッシングを、
開けた入線用の穴につけ替える

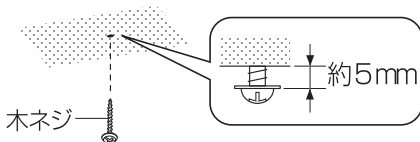


取り付け方

1 補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で取付板を取り付ける

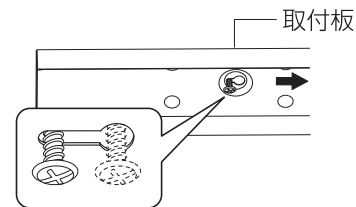
●木ネジの取付ピッチは、3ページの「器具取付寸法図」参照。

- 取付板のダルマ穴側の造営材に木ネジ(1本)を仮止めする
造営面からは約5mmのスキマを開けてください



- 壁面・傾斜天井取付の場合は、
取付面に表示している取付方向指示を確認する。
- 電源穴に電源線を通す

- 仮止めした木ネジに取付板のダルマ穴を通す
取付板を横にスライドさせ仮締めする



- 反対側の長穴を木ネジで締め付ける
- 仮止めした木ネジを確実に締め付ける

警告



必ず守る

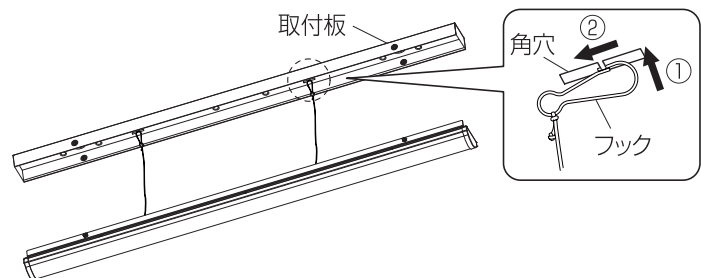
取付板を確実に取り付ける

取り付けが不完全な場合、
落下によるけがの原因となります。

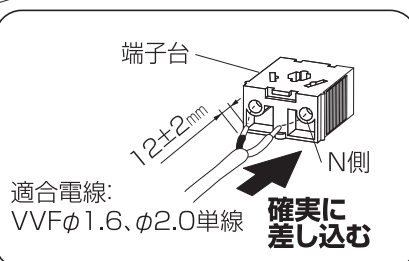
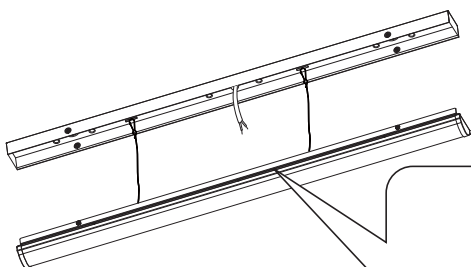
2 仮吊ひも(2本)を取付板に取り付ける

仮吊ひものフック(2カ所)を

- 取付板の角穴に押し当て
- 横に引く



3 端子台に電源線を接続する

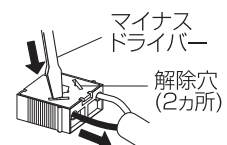


適合電線:
VVFφ1.6、φ2.0単線

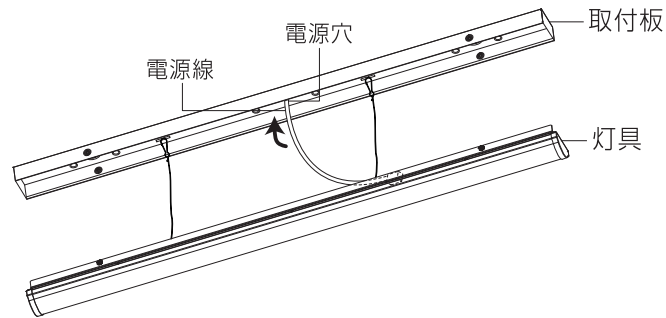
確実に
差し込む

電源線の取り外しについて

マイナスドライバー等で
解除穴を押しながら電源線を引き抜く

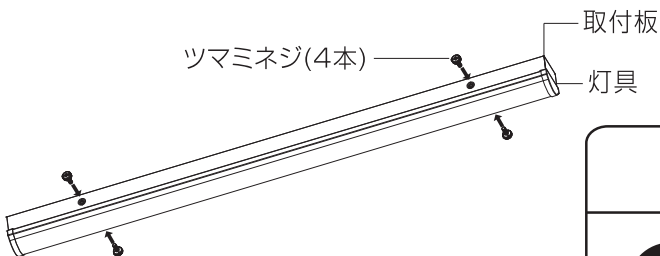


4 余分な電源線を電源穴に押し込む



5 取付板に灯具を取り付ける

- ① 灯具を取付板にはめ込む
- ② 灯具を押し上げながら、ツマミネジ(4本)を確実に締付ける。



⚠ 注意



必ず守る

- 灯具を確実に取り付ける。
取付が不完全な場合、
落下によるけがの原因となります。

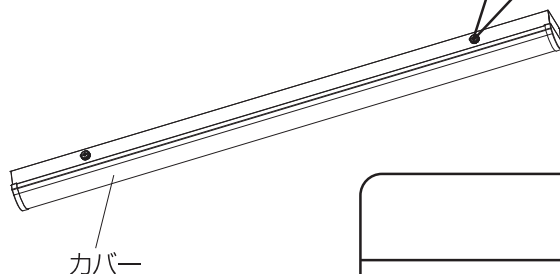
お手入れについて

電源を切って、本体が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。
- 灯具からカバーは取り外せません。

お手入れの方法

- 汚れは、やわらかい布を石けん水に浸してよく絞ってからふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。



⚠ 注意



禁止

- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、洗剤、殺虫剤を直接吹きかけないでください。変色、破損、感電の原因となることがあります。
- カバーにアルカリ系洗剤は使用しない
強度低下により破損するおそれがあります。

ご使用に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でお取り替えはできません。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

仕様

器具のラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。(保証とアフターサービスで品番が必要となります)

品番	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
<input type="checkbox"/> LGB52110 LE1 <input type="checkbox"/> LGB52111 LE1 <input type="checkbox"/> LGB52112 LE1	AC100V	50/60Hz共用	23 W	0.24A
<input type="checkbox"/> LGB52120 LE1 <input type="checkbox"/> LGB52121 LE1 <input type="checkbox"/> LGB52122 LE1			39.2W	0.4A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光速が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () —

お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って、出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- 製品名 住宅用照明器具
- 品番 上記仕様をご参照ください。
- 故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源については3年間です。

保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2015 - 2020

LGB52110 - T3A3

N1015 - 030520